

球磨村 おがわ瓦版

令和3年9月10日
編集発行 宮原 修
090-9585-8894

19 球磨村 支え合い 苦楽を共に50年

祝 熊日金婚夫婦表彰

今年で六十三回目を迎える熊日金婚夫婦表彰式が、9月9日に球磨村一勝地の石の交流館「やまなみ」にて行われた。

表彰式は15組の夫婦が出席。熊日新聞社の本田清悟事業局長が、表彰状と記念品を贈呈し祝辞を述べた。

式には松谷浩一球磨村長、門崎博幸副村長、森佳寛教育長が参列し祝辞を述べ、記念品が贈られた。

被表彰者を代表して柳詰教安さん(74)、が

「二人で過ごす時間も多くなりました。これからもお互い健康に留意し助け合っていきたいと思えます。また地域社会、球磨村のために微力ながら貢献していきたいと思えます」とお礼の言葉を述べた。



「熊日金婚夫婦表彰」は、上皇と上皇后美智子妃(平成天皇皇后両陛下)のご成婚を記念して1959年(昭和34年)に熊日新聞社の主催事業。結婚50年を迎えた県内の夫婦を祝い、県内45市町村を巡回し表彰している。

◎1971年(昭和46年)の出来事、流行

- ・NHK総合テレビが全番組カラー化
- ・第48代横綱大鵬が引退表明
- ・流行語：脱サラ、ニアミス、ピース、ヘンシーン
- ・ヒット食品：カップヌードル、サッポロ一番、チエルシー
- ・ヒット曲：わたしの城下町(小柳ルミ子)
- ・レコード大賞：また逢う日まで(尾崎紀世彦)
- ・ファッション：アンノン族、ジーンズ、プリントシャツ
- ・ホットパンツ、ミニからパンタロンへ
- ・球磨村役場庁舎が現在地に移転
- ・球磨川大瀬橋流出

みんなが集える場に

「和みの部屋」オープン!



球磨村渡の山口地区に、このほどみんなの寄り処「和みの部屋」がオープンした。

オープンした「和みの部屋」

山口森義さん(75)と妻の良子さん(73)は市内のみなし住宅で避難生活をしてきた。山口さんの自宅平屋も屋根まで浸水した。一時は転出を考え公費解体申請をしたが取下げた。被災後、親戚や友人知人など500人近いボラン

ティアが自宅の堆積した泥土の除去や片付けに駆けつけた。

山口さんは「多くのボランティアの人たちが、住めるようになればと懸命に片付けや一本一本の柱もきれいに磨き清掃して頂く姿に感謝。やはりここに帰り、同じ被災者の聴き役になりたい。みんなが集える場に」と再び現在の自宅に住むことを決意した。自宅の半分を「和みの部屋」としてみんなの交流の場に。カラオケも完備され、多目的に利用できるようにリニューアルされた。

9月より、生涯学習で囲碁を第2・4土曜日に、JA婦人部で詩吟教室を毎週一回行う。

山口さんは、「コロナ感染対策をしながら、今後多くの方が活用し楽しんで元気になってもらいたい」と話していた。

ご利用のお問い合わせは
090-1164-6028 (山口森義さん)へ



「和みの部屋」を開いた山口さん夫婦

球磨川ラフティング 運行再開へ!



世話やき隊便り

球磨村生活支援サポートグループ世話やき隊では、昨年の豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の感染拡大をうけ、活動を休止しておりました。

同会では、役員会や定例会を行ないながら活動再開の時期を考えているところですが、コロナの感染リスクや被災による交通状況の不安定、また支援者や利用者、多くの住民が被災し、仮設やみなし住宅での生活を余儀なくされているところから、訪問活動に目途が立たない状況です。

しかし、何か活動を行なって住民の困りごとや居場所を作ることができればと話になり、以前から計画していた「オレンジカフェゆったり」からスタートしようと協議しました。

予定：令和3年9月16日(木) 十時〜十二時
JR一勝地駅待合室にて

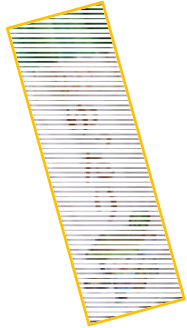
短時間ではありますが、気軽に立ち寄って、生活面の困りごとや今後のことなどについて会員が傾聴します。

尚、新型コロナウイルス

感染症対策を徹底して行ないます。また新

型コロナウイルス感染

状況をみて中止する可能性があります。



思いのままに

夏空青い空の下、ひとつの緑の葉っぱが空に向かって、まっすぐに伸びている。向日葵である。この夏も暑く、二度目の梅雨を思わせる激しい雨が降る。

昨年豪雨災害から一年が過ぎ、仮設住宅やみなし住宅での生活を余儀なくされている方も多し。コロナの終息も見えない中で、子供たちが一番つらい環境にあると思う。

この苦境の時期を乗り越えたとき、子供たちが描く未来の夢を、向日葵の大きな花と共にほほ笑みながら見届けたいと思う。



(K・N)

ただだいた
だけだ

相田みつを詩集より

球磨弁！ 37

わかるかな？

- じゃつよ || そうだよ
- あせくる || 混ぜ散らす
- いっそで || みんな一緒に
- ごつてうし || オス牛
- あやむか || 味気ない
- よこりゃー || 余計に
- いっぱしげる || 破裂する
- とんぎつとる || 尖とがってる



思いのままに...

先日、熊本市内在住の友人(同級生)から奥様の訃報の電話を頂いた。あまりの突然の知らせにただ驚くばかりで、慰めの言葉も見つからなかった。友人からは、昨年の豪雨被害のとき励ましの電話やお心遣いを頂いた。何のお礼もできないうちの訃報。すぐにでも行って声をかけてあげたかったが、こんなご時世で。

そんな友人が、亡き奥様から伝授してもらった「梅干し作り」に挑戦中という。本人曰く「手間が掛かるけど、寂しさを忘れるには丁度いい作業」とは言っていたが...

コロナが収まったらお伺いし、その梅干しを頂きながら、いろいろと語り合いたいなと思っている。(宮原)

